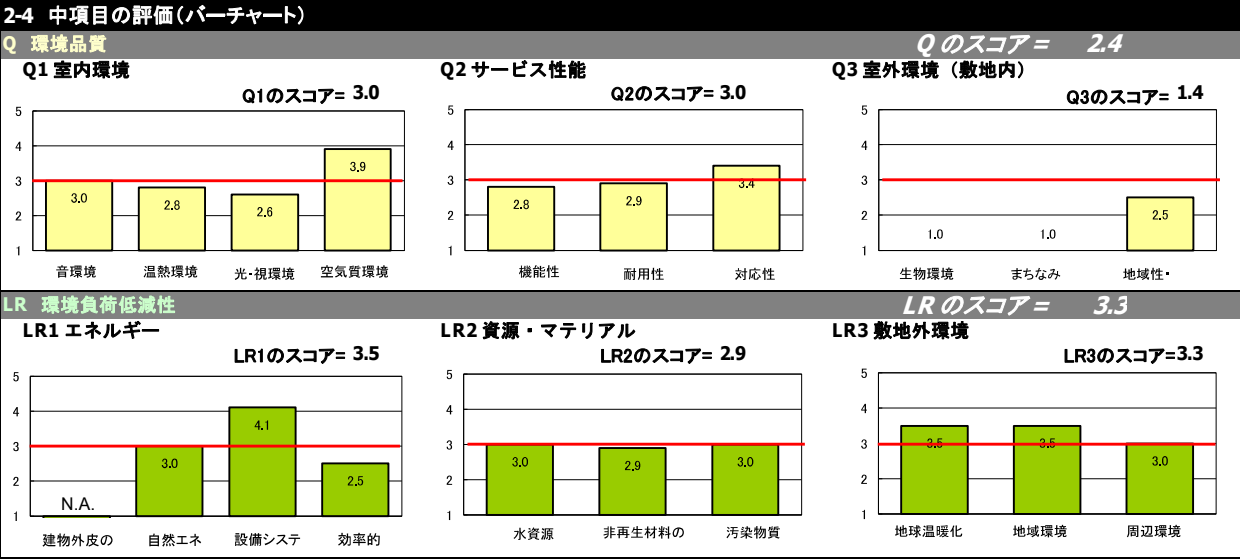
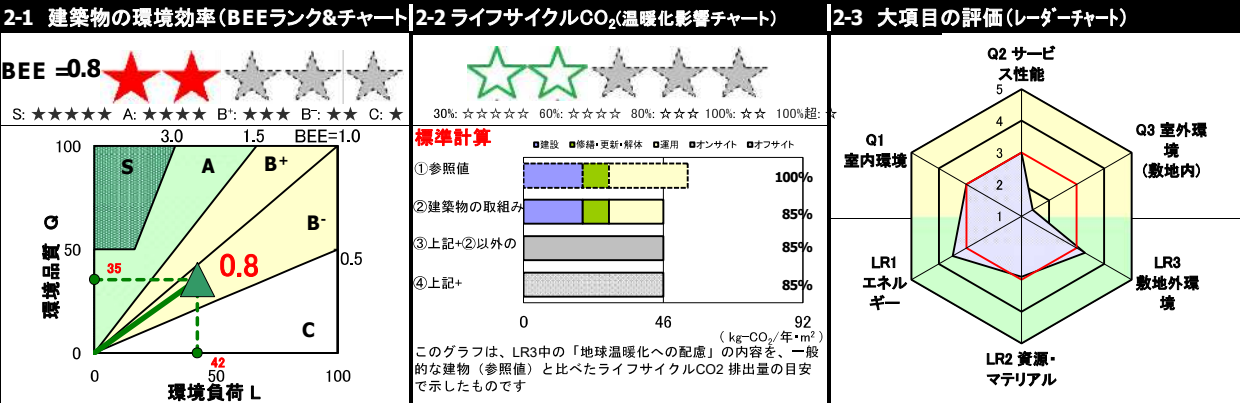


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	彩資生株式会社 狭山工場 移転増築工事(計画建物1)	階数	地上2F、地下1F
建設地	埼玉県狭山市柏原字宮久保410番3、430番1、5、6、7、441番3、455番1	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	20 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,360 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2024年4月3日
敷地面積	14,805.09 m ²	作成者	横尾一級建築設計事務所
建築面積	1,723.67 m ²	確認日	2024年4月4日
延床面積	2,614.35 m ²	確認者	横尾一級建築設計事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 省エネ性能を高めた計画としている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 化学汚染物質や喫煙の制御に配慮することで、空気質環境を健全に保っている。	Q2 サービス性能 リフレッシュスペースを設けることにより、サービス性能の向上を図っている。また、階高のゆとりや空間の形状・自由さに配慮することにより、将来の更新性を考慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 高効率機器を採用し、設備システムの高効率化に努めている。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制することで地球温暖化防止に貢献している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 彩資生株式会社 狭山工場 秤量棟増築工事(計画建物1)

 ■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄					全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.4
Q1 室内環境			0.30		-	3.0
1 音環境		3.0	0.15		-	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-	
1.2 遮音		3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-		-	
1.3 吸音		3.0	0.20		-	
2 温熱環境		2.8	0.35		-	2.8
2.1 室温制御		3.0	0.50		-	
1 室温		3.0	0.38		-	
2 外皮性能		3.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		2.0	0.20		-	
2.3 空調方式		3.0	0.30		-	
3 光・視環境		2.6	0.25		-	2.6
3.1 昼光利用		1.8	0.30		-	
1 昼光率		1.0	0.60		-	
2 方位別開口		-	-		-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-	
1 昼光制御		3.0	1.00		-	
3.3 照度		3.0	0.15		-	
3.4 照明制御		3.0	0.25		-	
4 空気質環境		3.9	0.25		-	3.9
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質	ほぼ全面にF☆☆☆☆☆建材を採用	4.0	1.00		-	
4.2 換気		3.0	0.30		-	
1 換気量		3.0	0.33		-	
2 自然換気性能		3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-	
4.3 運用管理		5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		-	-		-	
2 喫煙の制御	建物内禁煙	5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能		-	0.30		-	3.0
1 機能性		2.8	0.40		-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性		2.3	0.30		-	
1 広さ感・景観		1.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+自動販売機の設置	5.0	0.33		-	
3 内装計画		1.0	0.33		-	
1.3 維持管理		3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性		2.8	0.20		-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3 電気設備		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1 階高のゆとり		階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ		0.1 ≤ [壁長さ比率: 0.13] < 0.3	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	1.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.69	4.1	0.63	-	-	4.1
4 効率的運用			2.5	0.25	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物に対して85%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の使用なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 污水处理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称

彩資生株式会社 狭山工場 秤量BEE

0.8

BEEランク

★★

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア

3.5

+

2.3

=

5.8



重点項目の各スコアの合計点

がんばろう
6.0未満良い
6.0以上非常によい
6.8以上すばらしい
8.0以上

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 3.5

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 3.5

<配慮した内容を記述>

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 2.3

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)

1. 生物環境の保全と創出

スコア 1.0

Q3 室外環境(敷地内)

3. 2 敷地内温熱環境の向上

スコア 3.0

LR3 敷地外環境

2. 2 温熱環境悪化の改善

スコア 3.0

<配慮した内容を記述>

 : 入力欄